

活動名称 (40字以内)	中国・海南島の自然保護区管理を知る		
団体名等	大学院農学生命科学研究科 附属演習林		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input checked="" type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		10 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生 海外の自然保護区の活動に興味がある学生(文系理系を問わない)の参加を期待している。		
活動期間	2019/8/5(月) ~ 8/12(月)	主な活動場所	中国 海南島
	8 日間		
目的	生物多様性に富み世界的に見ても貴重な熱帯の自然が残る海南島で、自然保護区、国立公園、自然公園などを見学し、実際に行われている活動に触れることで、自然保護の意味とその必要性を体感しよう。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>中国でもっとも新しい省である海南省は、海南島を中心として多くの島からなる熱帯の自然豊かな地域である。本活動では、海南島に多数設置されている自然保護区を中心に、国立公園、自然公園などを見学し、そこで行われている活動に触れることで、貴重な自然を守るこの意味と必要性について体感して欲しい。海南島は熱帯林を中心とした陸域と島の周囲に広がる海域に多くの同植物が生育しており、生物多様性に富むばかりか固有性も高く世界的に見ても貴重な自然が残っている。この自然を守るため数多くの自然保護区が設置されているが、経済的、社会的なさまざまな要因からその活動は必ずしも容易ではない。今回の活動では以下のような自然保護区や国立公園の見学を予定しており、そこでの活動について説明を受けることで、「自然保護」の意味や必要性を各々の感性で感じ取って欲しい。</p> <p>(日程:現時点での計画であり、一部変更になる可能性がある)</p> <p>第1日 羽田→広州→海口(海南省)</p> <p>第2日 海南大学海口キャンパス見学 東寨港国家級自然保護区にてマングローブの生存戦略についての見学</p> <p>第3日 海南大学儋州キャンパス見学</p> <p>第4日 海南大学儋州キャンパス熱帯植物園で熱帯林の樹木の識別方法を学習</p> <p>第5日 海尾湿地公園にて湿地植物と鳥類の観察 海南省ターミンジカ自然保護区にて絶滅危惧種動物の保護政策についての見学</p> <p>第6日 尖峰嶺国家公園にて尖峰嶺国家公園の歩みとについての説明を聞く</p> <p>第7日 尖峰嶺国家公園にて熱帯原生雨林の見学と植物に関する学習 海南大学海口キャンパスにて終了式・歓送会</p> <p>第8日 海口→広州→羽田</p> <p>なお、本活動には大学院農学生命科学研究科附属演習林のスタッフ数名が同行する。また、すべての行程が海南大学熱帯農林学院(大学院農学生命科学研究科と学術交流協定を結んでいる)スタッフのサポートを受けて実施される。</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容をよく読んで、無理なく参加できることを自分で確認すること。 ・事前オリエンテーション・説明会では、現地の気候などの情報や現地での注意事項などを説明するので必ず参加すること。6/11(火)19:30-20:30(本郷キャンパス学生支援センター2F大会議室) ・活動に同行する演習林スタッフおよび現地に対応してくれる海南大学スタッフの指示を守ることを徹底して欲しい。 ・過度に心配する必要は無いが比較的車での移動が多いスケジュールなので、体調管理には十分注意して参加して欲しい。 		
参加するための費用※	内訳(1名当たり)	その他※特記事項は以下に記載	
	航空券 実費 宿泊費 現地交通費・ 入園料等 食費 (宿泊費に含まれる。) 計	航空券代金を除き、50,000円程度(更に安くなる可能性あり)。 奨励金額 35,000 円	
ウェブサイト等	海南大学: http://www.hainu.edu.cn/en1/JP1.htm 大学院農学生命科学研究科附属演習林: http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/		